



森ボラ 通信

第150号 2014年11月20日発行 NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆奥尻島のブナ

北海道にもブナの木は存在していますが、道南の黒松内低地が北限とされています。でも、札幌や江別などでは植栽したブナが大きく育っており、十分に育つ気候の地域は石狩・空知地方にもあるようです。昨年冬のセミナーで北海道のブナについて森林総研の北村先生にお話して頂きました。その時の話にも出てきましたが道南の離島である奥尻島にもブナが育成していること、では離島にも渡ったブナが何故、黒松内エリアから中々北上することが出来なかったのかの疑問もありますが、まずは奥尻島のブナを見てみようということで今年の研修旅行は奥尻島訪問になりました。私は奥尻島の現地を見るまでブナの森とは言っても日本海の離島であり気象条件も厳しいところですので矮性化した樹高の低いブナが育っているのでは？と考えていましたが、現地のブナを見てその大きさに驚かされました。我々が見せて頂いた復興の森のブナは、明治～大正時代にかけて他の産業の為に伐採され、現在はその二次林が育つ



ているとのことですが、当時伐採されなかった一部の木が大きく育ち、樹高12～15m、胸高直径160～180cmあり、樹齢約300年とのことでした日本列島のブナは、花粉分析から更新世(約258万年前～約1万年前)前期の80万年前には日本列島の植物社会のなかで安定した地位を確立していたと言われ、ヨーロッパブナがオリエントブナから分化したのが最終氷期以降の10万年以内と言われています。また、ヨーロッパのブナはその殆んどが伐採され、現在見ることでできるブナ林は絶滅を心配して植栽された人工林とのこと、日本のブナ林も多くの森林が伐採されましたが、僅かに残された東北

地方を中心とした天然林を守ろうという動きが20世紀末におこり、白神山地などが保護されることになりました。北海道でも黒松内低地などで保護活動が始まり今日に至っています。日本のブナは非常に原種に近い存在だけに今後も残して行きたいものです。

ブナ科の樹木としては、ブナ・ミズナラ・カシワ・コナラ・クリなどがあり落葉広葉樹林を形成し、西日本の常緑照葉樹林とともに縄文時代から私達の生活に大きな関わりを持っていました。写真(左)はブナの実(白神山地産)ですがソバの実に似た高さ10～13mmの三面体で中にはクルミの実に似た脂肪分の多い美味しい胚乳があり、熊の好物です。



最近は動物・植物の遺伝子解析が進められています。奥尻島のブナの遺伝子も早く研究が進められ、何処から来たのか？を明らかにして欲しいものです。奥尻島2日目の最後に1993年の津波により多くの犠牲者を出した青苗漁港の緊急避難用高台（人工地盤）を見学してきました。高さ6.2mとのことですが、ここはあくまでも緊急用であり、今、奥尻島で予想されている津波高さは20mを超える地域もあります。我々も普段から自然災害に対する対応策を常に心がけたいものです。（文・荻田）



■ 活動報告

◆サンサンキッズ森林教室

10月17日澄川環境林にホームマックとのコラボで学童保育の子供たち1年生15人、2年生14人、3年生6人、4年生3人合計38人がやってきました。

悪い天気予報で会員参加は5名でしたがなんとか雨も持ちこたえてスケジュールをこなしました。

午前は皆で植樹体験

自分達で育てて持ってきたカミネッコンのミズナラ48本、ナナカマド24本を一か所に同じ樹種3本ずつ、樹種が混じるように分散して植えました。



午後Aコース：川の始まり探検

ホームマックの希望で今回は“水”がテーマで、木の葉っぱに降った雨が幹を流れて根を潤し地面にもぐり突然川が始まり合流してドンドン大きな川になるのを探検しました。

ちょうど雨で樹幹流が見られの伏流水の源頭も流れが大きくキャリコ橋ではホタルの話をしてキノコのホダ場も見学しました。森林の水土保持機能を体験するのに澄川は最適です。

午後Bコース：木こり体験

間伐体験ができないので木馬に丸太を載せノコギリで切って円盤を作りました。大小2枚作りましたが、ノコギリを真剣な目つきで使っている様子を見て引率の先生は普段の顔つきと違って頼もしく見える、と感動していました。出来た円盤には会のフクロウ焼印を押して穴をあけてもらってお土産にしました。

時間の余った子はポットに土を入れてドングリ、イタヤカエデ、クルミの種播きを手伝いました。子供たちの満面の笑顔が素晴らしく、私たちもやりがいを感じました。

サプライズ

鹿の骨、蟬の抜け殻、スズメバチの巣、マムシ草、大きなミミズなどたくさんありました。

お礼の言葉

今日勉強したことをノートに書いたあと各学年代表がお礼の言葉を述べました。上級生が下級生の面倒をよく見ているのが印象的でした。（文・酒井）



◆刈払機の講習を終えて

夕暮れ時に、私は国道を北に向かって帰路につきました。私は今日の講習を考えながら、何年ぶりだろうか、この充実感。いや十数年振りに違いない、あの時も今と同じ、この気持ちを持ち帰り酒の肴にしようか。今朝は7時過ぎの早い時間に家を出て、コマツ教習所には8時前に着きましたが、私より早く着かれた方が多いのには少し驚いたし、建物もきれいで、各所の清掃も行き届いていて、感心いたしました。又、受講者は定年間近か定年過ぎた方がほとんどのように見受けられ、私の隣の方も定年を過ぎて、第二の人生の就活とのお話でした。

講習時間は6時間で、その内、学科教育は5時間で学科終了時に簡単な試験を行いました。とにかく分かりやすく丁寧に教えてくれますので、小学低学年の生徒のように一生懸命に聞き、そして覚える事に集中しましたが、多分3日も経てば忘れそうで、おかしかった。

実地教育は刈払機の点検整備の他、一人一人に刈り込み動作をさせて、全ての講習を終え修了証受け取りました。今日は今年一番の寒さでしたが、充実した一日でした。

最後に、受講手続き等を行って頂いた樞棒様有難うございます又、酒井様、市山様及び幹事の皆様有難うございます。(文・藤原)

◆チェーンソーの特別教育

10月25～26日に北広島市大曲にあるコマツ教習所北海道センタにおいて、チェーンソーの特別教育(胸高直径70cm以上を対象とする作業)を米重、清澤の2名が受講しました。初日は座学で、労働災害の実態やそれを防止するための法的規制、チェーンソーを使った伐木作業の留意点、チェーンソーの構造・取扱方法などを聴講し、簡単な試験を受けました。

二日目は実技で、チェーンソーの組立て、整備、目立てを実際に行い、その結果を70cm級のトドマツの玉切りで確認しました。この日も最後に簡単な実技試験があり、二人とも無事合格して修了証を貰うことが出来ましたが、センタを後にしたのは両日とも18時過ぎというハードな研修でした。

また、初めてチェーンソーを持って木を伐ってみて、その威力を実感するとともに潜む危険も十分意識させられた研修でした。森ボラで明日から即戦力という自信はありませんが、取扱い上の留意点を反芻しつつ、少しずつ身体で覚えていくつもりです。(文・清澤)



◆ 道民の森づくりネットワークの集い(10月18日活動報告)



10月14日道庁における打ち合わせ会を経て例年開催の森づくりの集いが道庁赤レンガ前で開かれました。早朝澄川からキャリコで運搬の機材をブースに搬入して飾り付けをまず行いノコギリ体験用の木馬をテント前にセットしました。またピノキオと販売用の帽子掛けは杉本家から直接搬入されました。午前と午後担当の2班に分けて活動を行い樞棒さんは多面の活動報告会に出席しました。キコリ体験、帽子掛けスタンド販売ともにまあまあの結果でした。例年通り他のボランティア団体との交流が主な成果でした。(文・酒井)

■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・酒井・佐野・高野・釣井・西野(悌)・矢澤・和田・清澤

1. 2014年12月、2015年1月スケジュール・・幹事会12月5日(金)
2. 親子森林教室の骨子発表・・親子森林教室の愛称を“森しり隊”と命名、木育関連説明者の打ち合わせは1か月前に実施する。会員例会への告知は3月に予定
3. 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・冬季整理間伐はA-4を1月中に終わらせる
4. CGCの森2014年度活動報告・・活動日12日間、参加延人数189名
天候不順で遅れた作業は2015年度にCGCと相談して対応して行く
5. ホームック来年度活動計画・・複数樹種のカミネッコンの提供を要請
6. 活動報告
 - ・ ローソン第4期進捗状況・・避難小屋の完成は来年春。E-3林道を整備。
冬季ニセアカシア調整間伐地区はE-2
 - ・ 澄川基本計画・・標準木選定はB,Cで行う
7. 委員会報告
 - 広報委員会・・2015年度からの北のIT契約改定承認 業務委員会・・11月活動報告
 - 助成委員会・・花王3年目の活動計画提出
 - 研修委員会・・1月のセミナー：札幌市立大学デザイン科上田先生「樹木葬と森林(仮)」の講演
8. その他
 - ・ 第二回理事会の件・・21日臨時幹事会で読み合わせ→28日アークス本社で報告
 - ・ 忘年会(12/12・13)・・参加者23名
 - ・ 高額商品購入の件・・刈払機3台,小型サンダー購入。小型発電機は却下
 - ・ 10月会計報告

★新入会員紹介 澤田 宜己さん(大学3年生)
 宮川 俊哉さん(北海道オリエンテーリング協会副会長)

■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
10月19日(日)	澄川/盤溪、幌南の森	12/5	避難小屋工事。盤溪、幌南の森補植作業
10月20日(月)	リンゴ園	5	収穫
10月21日(火)	澄川/野幌森林公園	15/5	避難小屋工事。野幌の看板メンテナンス
10月22日(水)	有明	9	穴地に山取り苗植栽。笹、枝チッパー処理
10月23日(木)	リンゴ園	5	収穫
10月25日(土)	澄川	15	桜台いちい幼稚園児カミネッコン132鉢植栽
10月27日(月)	有明	6	澄川からのポット苗30鉢試験植栽
10月30日(木)	澄川	15	食害防止用ヘキサチューブ。E-2(2.64ha)くい打ち
11月1日(土)	澄川	12	ゲストボランティア2名参加。E-2 毎木調査
11月5日(水)	澄川	19	A地区の標準木選定。E-3,4 作業道新設
11月7日(金)	幹事会/リンゴ園	12/8	定例幹事会/収穫
11月8日(土)	リンゴ園	9	収穫(今年度の支援活動終了)
11月11日(火)	澄川	19	標準木調査。E2/E3 作業道整備。避難小屋工事
11月14日(金)	澄川	7	食害防止網設置。避難小屋工事
11月16日(日)	澄川	11	A-4の間伐木の選定。食害防止網設置